

1

創立70周年  
記念事業

## つなげよう未来へ

- 埼玉大学創立70周年記念事業 開催報告 -

Vol.22

February  
2020

### 創立70周年記念 シンポジウム・式典・祝賀会

埼玉大学は、令和元年11月3日(日)に創立70周年を迎え、これを記念して、11月29日(金)ロイヤルパインズホテル浦和を会場として、シンポジウム・式典・祝賀会を開催しました。



#### シンポジウム

「埼玉活性化に向けて-埼玉大学の役割」と題したシンポジウムを開催し、約200名が参加しました。山口 学長をはじめ、奥野 埼玉県副知事、室久保 埼玉経済同友会専務理事、奥本 日本放送協会さいたま放送局長という各界を代表する方が、地元埼玉の更なる活性化に向けた課題と、そこにおいて埼玉大学の果たしうる役割について講演し、その後、伊藤 理事(研究・産学官連携担当)をモデレーターとして、講演者を交えたパネルディスカッションを行いました。



▲パネルディスカッションの様子

#### 式典

多数の来賓、オフィシャルパートナーをはじめとする地元産業界の方々、約240名のご臨席の下、記念式典を挙行了しました。式典では、山脇 文部科学審議官、大野 埼玉県知事、永田 国立大学協会会長・筑波大学長から、本学創立70周年へ向けた温かい祝辞をいただき、その後、当日出席いただいた国会議員及び大学長の紹介、同窓会長挨拶・記念品贈呈、在学生挨拶及び祝電の披露が行われました。



▲山脇 良雄 文部科学審議官



▲大野 元裕 埼玉県知事

#### 祝賀会

埼玉大学吹奏楽部のファンファーレにより始まった祝賀会では、柴山 前文部科学大臣、清水 さいたま市長、池田 埼玉りそな銀行社長からの挨拶、オフィシャルパートナー紹介、埼玉大学同窓会への感謝状贈呈、鏡開きが行われ、上井 前埼玉大学長から乾杯の発声をいただきました。その後は参加者の歓談と共に、本学アカペラサークルCHOCOLETZ(チョコレッツ)によるアトラクション等が行われ、参加者からは歓声が上がするなど、終始和やかな雰囲気の中、盛会のうちに終了しました。



▲鏡開きの様子

2

創立70周年  
記念事業

## 第9回ホームカミングデー

おかえりなさい  
青春時代を過ごした懐かしいキャンパスへ

学内に秋の気配が漂い始めた10月26日(土)にホームカミングデーを開催しました。ホームカミングデーは、大学と卒業生・元教職員・地域の皆様など、本学に関係ある方々をつなげるイベントです。9回目の開催となる今年度も同窓会(5学部同窓会連合)の尽力のもと、本学創立70周年を記念して世界で活躍する同窓生の加藤基さん(埼玉大学フェロー・元ガボン大使)、Aminさん(バングラデシュ工科大学教授)、金京浩さん(JETRO北京事務所)、原さつきさん(JICA青年海外協力隊・エチオピア滞在)をお迎えし、国際シンポジウムを行いました。懇親会では、留学生によるアトラクションが披露され、参加者にとって、埼玉大学の国際化を感じる機会となりました。

来年度もホームカミングデーで旧交を温めて頂きたく、皆さまのご参加をお待ちいたしております。



懇親会風景▶

## 国際シンポジウム

「つなげよう未来へ—人とつながる 世界とつながる—」をテーマに、世界で活躍する同窓生4名が講演し、その後、山口 学長、榎木 同窓会長を加え、パネルディスカッションを行いました。



▲加藤 基さん



▲A. F. M. Saiful Amin さん



▲金 京浩さん



▲原 さつきさん

## 歓迎会

山口 学長による歓迎の挨拶から始まり、埼玉大学基金高額寄附者への特別感謝状の贈呈、課外活動や学術研究等で顕著な成績を収めた在学生の活躍を卒業生など参加者に披露しました。



▲挨拶する山口 学長



▲会場の様子

## 懇親会

山口 学長及び榎木 埼玉大学同窓会長の挨拶の後、円谷 ホームカミングデー同窓会実行委員長の乾杯の発声で始まり、卒業生・教職員・在学生の枠を越えて歓談しました。

また、同窓会より埼玉大学70年変遷史パネル(図書館1階に展示中)を寄贈いただいたことが紹介され、更には学生によるアトラクションやライブもあり、大いに盛り上がりました。



▲榎木 埼玉大学同窓会長(右)から山口 学長へ埼玉大学70年変遷パネル記念品の目録を贈呈

3

創立70周年  
記念事業

## 『埼玉大学研究マップ』刊行

創立70周年記念出版として、埼玉大学全研究者の研究に関する情報を網羅した『埼玉大学研究マップ』を作成しました。「埼玉大学研究マップ」の刊行は、多様な人、多様な学問が集う知の府である埼玉大学が、社会の課題解決へより一層貢献していくための各種連携のきっかけとなることを目的としています。主に産学官連携協議会会員各社や報道関係者、埼玉大学創立70周年オフィシャルパートナー各社に配布し、各所より好評を得ております。

大学ホームページにてデジタルブック形式で掲載しておりますので、是非ご覧ください。

大学ホームページにてデジタルブック形式で掲載しておりますので、是非ご覧ください。

## 埼玉大学研究マップ

教員と研究の紹介



◀デジタルブックで  
ご覧いただけます

4

創立70周年  
記念事業

## 音楽の贈りもの

12月22日(日)、彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホールにて、本学教育学部芸術講座音楽分野教員による演奏会「音楽の贈りもの」を開催しました。

この演奏会は、埼玉大学創立50周年である1999年に開催されて以来、地域の方々をはじめとした多くの皆様に親しまれており、今年は20回目の開催と創立70周年を記念した、3部構成10プログラムで演奏をお届けしました。

次回の「音楽の贈りもの」は2021年1月24日(日)14時～ 彩の国さいたま芸術劇場音楽ホールにて開催予定です。



▲演奏会の様子

## 5 研究 埼玉大学大学院理工学研究科と理化学研究所による 連携大学院創立30周年記念の会を開催

11月22日(金)、埼玉大学大学院理工学研究科と理化学研究所による連携大学院30周年記念の会を挙行了しました。

セレモニーは、記念の会、記念講演、祝賀会の3部構成で行われ、記念の会では、本学 坂井貴文 理工学研究科長の「開式のことば」から始まり、山口 学長及び小安重夫 理化学研究所理事から当時のエピソードを交えた挨拶がありました。

続いて、来賓挨拶として本学 伏見謙 名誉教授から理工学研究科設置に至る経緯や学内での議論について、ユーモアを交えた紹介があり、理化学研究所 柴田武彦 名誉研究員からも設置当時の思い出や現在の連携のあり方について挨拶がありました。

記念講演では、本学大学院理工学研究科 王青躍 教授から「大気汚染と花粉症」、理化学研究所 堂前直 幹事から「バイオロジカルマススペックと理研埼玉大連携大学院30年」と題した講演が行われました。

その後の祝賀会では、本学 重原孝臣 理事(教学・学生担当)から30周年を迎え、引き続き両機関の連携強化を期待していると挨拶があり、理化学研究所 上坂友洋 幹事からは、挨拶に続き両機関の連携に重要な役割を任けている事務職員に感謝の言葉と記念品の贈呈というサプライズの演出もありました。

理化学研究所 鈴木匡 幹事による乾杯の発声の後、祝賀会はスタートし、参加者は名誉教授の方々を囲み、当時の思い出話や現在の大学の近況について語り合い和やかな雰囲気の中、祝賀会は進行しました。



▲会場の様子

## 6 教育 知事と学生の意見交換会

11月8日(金)、本学の学生が、大野元裕 埼玉県知事に政策を提言する「知事と学生の意見交換会」が開催されました。この取り組みは今回で10回目を迎え、若者の感性を県政に活かすとともに、学生に生きた学習の場を提供することを目的としており、これまでに学生たちの提案をもとに実現に至った政策もあります。

今回は以下のテーマについて政策提言をまとめました。

- (1)県産木材の利用促進(経済学部 江口幸治 准教授ゼミ)
- (2)つながるアプリ -スマートフォンを活用した引きこもり支援策-(経済学部 松本正生 教授ゼミ)

- (3)20~30代女性の子宮頸がん検診受診率の向上に対する政策(経済学部 齋藤友之 教授ゼミ)
  - (4)歩行者優先! -ストレスフリー横断歩道を目指して-(工学部 久保田尚 教授ゼミ)
  - (5)みんなでつくろう!!まちぐるみ美術館(経済学部 内田奈芳美 准教授ゼミ)
- 学生らの提案を受けて大野 知事は「今回の発表では教えられることが多く、埼玉大学の未来は明るいと感じた」と熱く学生に語りました。



▲来場者が満席となった意見交換会の様子

## 7 教育 令和元年度第1回学生表彰を実施 —優れた学術研究・課外活動の成果を称えて—

10月26日(土)、令和元年度第1回学生表彰を行いました。学術研究では9名に、課外活動では個人表彰12名および団体表彰6団体に対して、山口 学長から表彰状が授与され、学生後援会より記念品が贈呈されました。

受賞者を代表して学術研究で表彰された大学院理工学研究科の大森さんは、今回の受賞対象となった成果内容について、埼玉大学と連携機関である放射線医学総合研究所で研究する悪性度の高い悪性胸膜中皮腫というがんの

治療に重粒子線治療が効果的であると考え、その有効性とメカニズムを示す研究結果の発表により社会的な評価を受けた、との経緯を説明するとともに、日頃から研究指導を受ける先生・研究室の仲間に感謝を述べました。



▲山口 学長(前列中央)と表彰の学生ら

## 8 研究 4名の教員に学長表彰を授与 研究活動に顕著な功績

11月18日(月)、令和元年度学長表彰表彰式を開催しました。このたびの表彰では、教育・研究活動に顕著な功績があった教員に「学長奨励賞(教育・研究)」及び「学長特別賞(みずき賞)」が授与されました。山口 学長は大学の研究力維持のために高い意識を持つことの重要性について触れた後、研究分野における各受賞者の功績を称え、激励しました。受賞者を代表して大学院人文社会科学部研究科の遠藤環 准教授が挨拶し、埼玉大学の魅力として「研究志向の強い第一線で活躍されている先生方と知的な議論の場があり、教育にも熱心な先生方に刺激を受ける」ことを挙げられ、これまで研究を支えてくれた多くの関係者への感謝の意を述べました。



▲(前列左より)学長奨励賞の遠藤 准教授、小野 准教授、山口 学長、学長奨励賞の富樫 助教、学長特別賞の荒木 准教授(後列左より)柳澤 経済学部長、坂井 理工学研究科長、伊藤 理事、重原 理事、平林 理事、木崎 総務部長

## 9 国際 ドイツ ブランデンブルク州 訪問団が来学

11月26日(火)、ドイツ ブランデンブルク州の法務・ヨーロッパ・消費者保護省から、クナイフェル・ハヴァーキャンプ 法務国際局長およびステファン・ビーダーマン 国際部渉外課副課長、ならびに、ヴィルダウ工科大学から、ウルリケ・ティッペ 学長が来学しました。

埼玉県とブランデンブルク州は平成11年に姉妹都市提携を締結し、今年はその20周年を記念して様々な事業が実施されています。今回の本学への表敬訪問は、その一環として実現したもので、埼玉県国際課和田 課長、柳沢 主幹の同席のもと、活発な意見交換が行われました。

今回の訪問を機に、本学とヴィルダウ工科大学との学生交流・学術交流の発展、また産学官一体となった交流の促進が期待されます。



▲(左から)ビーダーマン 国際部渉外課副課長、ハヴァーキャンプ 法務国際局長、ティッペ ヴィルダウ 工科大学学長、山口 学長、和田 埼玉県国際課長

**10 地域** 「埼玉りそなCSR私募債～埼玉SDGs応援ファンド～」による寄附金贈呈式および感謝状贈呈式を開催

12月10日(火)、埼玉りそな銀行ビジネスプラザさいたまにて「埼玉りそなCSR私募債～埼玉SDGs応援ファンド～」による寄附金贈呈式および感謝状贈呈式を開催しました。

本ファンドは、私募債発行企業が発行する私募債の発行額の一部を埼玉りそな銀行が本学へ寄附をする商品で、2019年3月より取扱いが開始されました。発行企業のSDGs実現を支援したいというニーズに応えるとともに本学と発行企業との連携を強化し、地元埼玉の発展・活性化に貢献することを目的に創設されたものです。贈呈式では埼玉りそな銀行の池田 社長より、山口 学長へ寄附金(1,000万円)目録が贈呈され、これを受け山口 学長からは、本ファンドの発行企業各社に対して感謝状を贈呈いたしました。



▲記念撮影(左:池田 社長、右:山口 学長)

**12 男女共同参画** 彩の国女性研究者ネットワーク 訪問セミナー(理化学研究所)を開催

9月24日(火)、理化学研究所和光キャンパスにて、彩の国女性研究者ネットワーク訪問セミナーを開催し、芝浦工業大学、埼玉県立大学、埼玉大学から18名の学部生・大学院生が参加しました。

参加した学生達は、熱心に講師の話に耳を傾け、「1回の計測にどのくらいの時間がかかるのか」「今は何を計測しているのか」「どうしたら研究室に入ることが可能か」など、様々な質問をしていました。

参加者からは、「大変勉強になった」などの感想が寄せられました。



▲小谷 理事を囲んで記念撮影(前列左:小谷 理事)

**11 産学官** 第20回埼玉大学産学交流会 テクノカフェを開催

第20回埼玉大学産学交流会テクノカフェが、10月29日(火)に本学シアター教室で開催されました。

埼玉大学産学官連携協議会 上條会長の主催者挨拶に続いて、第1部は大学研究シーズの紹介として、大学教員による研究成果等の事例発表、続くコーヒーブレイクでさらに詳細なポスターセッションを行い、第2部の講演会というプログラムで実施しました。

会合に続き行われた交流会で山口 学長から、産学官連携に一層努め、地域活性化の一翼を担っていきたいこと、埼玉大学産学官連携協議会活動に大きく期待する旨の挨拶がありました。

また、COEDOブリュワリー(協同商事)と本学のコラボレーションで生まれた創立70周年記念ビールを楽しみながら、活発に交流しました。



▲講演の様子

**13 卒業生の活躍** 女子柔道で本学卒業生が大躍進!

本学卒業生 趙 睦熙さん(チョウ モッキ、2016年3月教育学部卒)が、女子柔道韓国代表(63kg級)として、2019年7月に開催されたグランプリ・モンテリオールで世界ランキング外(当時)ながらIJFワールド柔道ツアー初優勝を飾り、引き続き同月に開催されたグランプリ・ザグレブでは3位になりました。

「埼玉大学での四年間があったからこそ今の自分がいると思っています。埼玉大学の卒業生という誇りを持って、卒業してもこのように応援して頂けることに感謝してこれからも頑張っていきたいです。」という趙さんは、今後、厳しい稽古を重ね、国際大会へ出場しながら、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会出場を目指します。

本学卒業生 趙 睦熙さんを、皆さん応援しましょう。



▲決勝での内股さかし(グランプリ・モンテリオール)

**埼玉大学基金室より 埼玉大学基金のご案内**

**寄附の目的区分をリニューアルしました!**

埼玉大学基金は平成25年11月の設立以来、皆さまからのご理解とあたたかいご支援をいただいております。本基金の特定重点事業である創立70周年記念事業「埼玉大学インターナショナルレジデンス(国際学生寮)」は、多くの皆さまからのご支援により、令和元年10月、無事に完成いたしましたことをご報告いたします。

この事業の完成を受け、このたび埼玉大学基金の目的を右図のとおり新たに設定いたしました。

ご寄附の方法として、金融機関からの振込・払込のほか、指定の月に決済が行われる継続寄附も可能なクレジットカード決済をご用意しております。

詳細は下記ホームページをご覧ください。今後とも埼玉大学基金へのご理解とご支援をいただけますよう、心よりお願い申し上げます。

**埼玉大みらい基金**  
【募集期間】2019年11月～2024年3月

- 埼玉大学の機能強化を支援
  - 教育・研究への支援
    - ・教育プログラムの整備充実等
    - ・国際的研究力の向上等
  - キャンパス環境整備への支援
    - ・安全・安心・快適なキャンパス整備等
  - 国際交流事業への支援
    - ・海外留学の促進等
    - ・外国人留学生受入促進等
  - 社会連携事業への支援
    - ・地域・社会との連携充実等
    - ・企業との連携強化等
- 学生への奨励事業の実施
  - 特に優秀な学生への給付型奨励金制度の創設

**冠奨学金基金**

寄附者の方の想いに沿った奨学金制度を創設

一定額以上(30万円以上)を寄附した寄附者(法人・個人)が、奨学金名称、奨学金の額及び対象学部等を設定いただけます。

**特定基金**  
埼玉大学修学サポート基金

経済的理由により修学に困難がある学生等の支援

- ・授業料・入学料減免事業
- ・奨学金事業
- ・海外留学支援事業
- ・TA・RA事業

◆埼玉大学基金のご報告

令和元年12月末の状況 **487,657,711円**

うち古本募金「きしゃぼん」によるご寄附 **798,317円**

埼玉大学基金室(広報渉外室内) ☎048(858)9330 ✉s-kikin@gr.saitama-u.ac.jp 🌐http://www.saitama-u.ac.jp/funds/ 古本募金「きしゃぼん」についてはホームページの「お申し込み方法」(http://www.saitama-u.ac.jp/funds/pay/)の「3.古本募金」からもご覧ください。

